



# 図書館だより No.2

2020年度 6月号 大宮武蔵野高校図書館

引き続き!

新型コロナウイルス感染予防★対策中!

## ★6月の図書館の使い方 2

### □ 通常開館になります!

8:50~17:00 休み時間・放課後  
※臨時休館などは、階段手摺に表示してお知らせします。

### □ 生徒玄関の返却BOX 継続!

返却だけの場合は

→ 1F昇降口の返却BOXへ!

### □ 入室前には、手指の消毒を!

入室前後には、手洗いをしてください。  
カウンターにも消毒液があります。

### □ 閲覧机は40人座れます

他にもベンチや丸椅子もあります。  
密にならないように気を付けてください。

5F廊下に廃棄する本が  
並べてあります。  
ご自由にお持ちください!

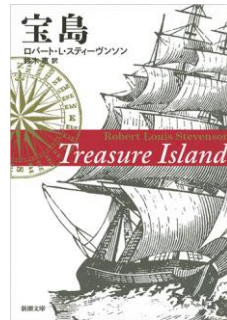


### □ 校長先生による今月のおすすめ本 2 □

#### 『宝島』 ロバート・ルイス・スティーヴンソン 著

今月のお薦め本の名前を見た瞬間、「えっ?」とか「何を今さら。」などといった言葉が聞こえてくるようです。皆さんの中にも、小学校時代に簡略版などで読んだことがある人も多いのではないのでしょうか。

そうです。『宝島』は、言わずと知れた少年少女向けの冒険小説で、高校生への読書案内で紹介されることは少ないと思います。今回皆さんに改めて紹介したいと思ったのは、次のようないきさつからです。



今年に代わってすぐの頃、書店の文庫本コーナーで久しぶりにこの本と出会う機会があったのですが、その時、実に驚くべきことを発見しました。初版が平成28年、つまり、つい最近なのです。それが何を意味するかというと、裏表紙にも記されていますが、何と、この新潮文庫版は新訳なのです! スティーヴンソンが『宝島』を発表したのは1883年(明治16年)ですから、それから何人もが翻訳し、130年以上たっても、

新たな研究に基づいて訳し直されているという、本当に驚くべきことなのです。つまり、この作品が今なお人々の心をとらえて放さないということを雄弁に物語っているのです。ストーリーはシンプルで、海賊が隠した財宝を求めて宝島に冒険に行く人々の物語です。主人公の少年を中心として物語は進みますが、裏切りやどんでん返しがあり、読者を最後まで一気に引っ張っていきます。まさに冒険小説の王道といえるでしょう。海賊が残した財宝を見つけようとする話、何だか人気漫画の『ワンピース』と重なり合いますね。私は、ある作品が時代やジャンルを超えて影響していくという、そのことに深い感慨を覚えます。

最後に、読んだことがある人にだけ通じる話を一つさせて下さい。あなたは、登場人物の誰が一番好きですか? やはり、主人公のホーキンス少年ですか? 智恵も勇気もあり、大活躍ですからね。でも、私は、何と言っても、海賊で悪役のシルヴァー料理長(船長)です。悪役なのにユーモラスで憎めず、最後はホーキンス少年を助けるも、結局は宝をくすねて逃げ出していくという、本当にいいキャラクターです。まだ読んだことがない人は、ぜひ読んでみて、心に残った登場人物を私に教えて下さい。(校長 矢持 昌也)

### 「先生方のおすすめ♥BOOK」2 展示中・貸出OK!



#### \*堀達也先生(3学年主任・社) 『レギュラーになれないきみへ』 元永知宏 著

野球の世界で活躍をしたいという思いを持ちながら、「補欠」を経験した人の8つの物語。それぞれにある物語の中で、何を体験し、その経験から何を学び、どうかするか。人生にいかせるヒントが、そこにはある・・・かもしれない。



#### \*朝倉秀明事務長(事務室) 『依頼人は死んだ』 若竹七海著

ハムラアキラ ~世界で最も不運な探偵~。決して手加減をしない、決してへこたれない主人公が、あなたをミステリの世界へ導いてくれます。自分は不運な人間と感じているあなた。女はタフでなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がないを実践してくれる葉村晶。なのに、不運な目に巻き込まれてしまう、きっとあなた以上に不運な葉村晶に癒されている自分がいます。表題作を含む短編集なので、ちょっとした待ち時間にもどうぞ! 今年1月にドラマ化(NHK)

